

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 20日

事業所名: わくわくクラブ 岡町校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	0	・現在、歩行機能障害等のある利用者がおらず、スロープや手すり等の設備はないが、各部屋の名称や案内用の矢印の掲示をおこなっており、配慮をおこなっている。	・今後、スロープや手すりの導入も検討していきたい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	・職員会議や日々の会話の中で問題点や改善点を常に言い合っている。	・引き続き実施していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	・いただいたご意見を真摯に受け止め、その都度改善するようにしている。	・改善点や課題をすべて改善し、業務改善につなげていけるようにする
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	0	・都度ご意見頂いた際に改善をしている。 ・第三者評価は受けられていないが、社内本部の評価を受けて改善につなげている。 ・ご意見をいただいた際は職員に共有し改善に努める。	・引き続き改善点を把握し迅速に対応していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	・月に一回の職員会議の他、事業部ごとの研修や会社全体の研修などがある	・引き続き職員の資質向上を図るため定期的の実施していく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		・引き続き継続しておこなう
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		・季節感があり楽しめるイベントや活動として引き続き継続しておこなう
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0		・支援に関する打ち合わせの内容を打ち合わせに参加出来なかった出勤スタッフにも必ず伝えられるよう工夫していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0		・日報や口頭で振り返り内容を全スタッフに共有していけるようにする
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		・引き続き継続しておこなう	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0		・引き続き継続していく
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	1	・該当する児童がいない。 ・現時点で対象者がいないが、受け入れた場合の体制は整えている。 ・今現在該当児童がいないが、受け入れる際には連携体制を整える様にする。	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0		・引き続き継続していく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	1	・該当する児童がいない。今後必要に応じて提供予定。 ・必要に応じて行っている。	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0		・さらに連携が深まるよう、頻度や参加メンバーの検討をしていく
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	3	・今後予定あり。 ・利用者のほとんどは地域の学校へ通学しているため、特にそのような機会は設けていない。 ・コロナが5類に移行されたので、今後は接点を持つ様に機会を設けていく。	・今後は交流の機会を設けていきたい
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0		・どのスタッフも参加していけるよう工夫する
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	0		・提供の機会を増やしていく	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	・「わくわくカフェ」という会を通して機会を提供している。	・引き続きわくわくカフェを定例化し、交流の機会を設けていきたい
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0		・ホームページやブログ等の認知度を上げていく為にも内容や頻度等を充実させられるよう努める
	35 個人情報に十分注意している	6	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後運営予定。</li> <li>・コロナが5類に移行されたので、今後は接点を持てる様に機会を設けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は交流の機会を設けていきたい</li> </ul>

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	6	0	0		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	6	0	0		・認識の統一をおこなえるよう努める
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	・医師の指示書はいた だいていないが、アレ ルギーのあるおやつを提 供しないようにしてい る。	・引き続き注意や配慮をしながら対応する
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	6	0	0			